

平成25年度 第2回 櫛引地域審議会

日 時 平成25年8月26日(月)

午後1時15分開会

場 所 櫛引公民館多目的ホール

《 委員・職員研修 》 13:15～15:00

■講演会 「農村で人と人をつなぐほんもの体験観光で地域を元気に！」
ー地域への経済効果10億円・ツーリズムでの地域資源活用例ー

■講 師 (株)南信州観光公社 代表取締役社長 高橋 充 氏

一 次 第 一

1 開 会 15:15～

2 あいさつ

3 協 議

(1) 協議テーマに係る協議

① 「住民主導の広域コミュニティ推進組織について」

② 「住民参画型の賑わいの創出について」

(2) その他

次回第3回の開催日程 10月3日(木) 13:30～

4 そ の 他

5 閉 会

櫛引地域審議会委員名簿

No.	所属団体名等	役職名または職業	氏名	講演	会議	
1	櫛引区長会	会長	渡部俊美	○	○	
2	櫛引地域婦人会	会長	斎藤ゆう子	○	○	
3	櫛引自治公民館連絡協議会	副会長	小野寺雄司	○	○	
4	鶴岡市黒川地区農業村落振興会	会長	秋山文雄			
5	庄内たがわ農業協同組合	理事	成田新一	○	○	
6	株式会社産直あぐり	取締役	上野重和	○	○	
7	出羽商工会櫛引支部	代表理事	渡会昇	○	○	
8	櫛引観光協会	会長	澤川宏一	○	○	
9	鶴岡市社会福祉協議会	理事	佐久間泰子	○	○	
10	櫛引地区民生児童委員協議会	会長	秋山武彌			
11	櫛引地区PTA連合会	会長	工藤治樹	○	○	
12	鶴岡市櫛引体育協会	会長	佐久間忠勝	○	○	
13	庄内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会	会長	松浦安雄	○	○	
14	鶴岡市老人クラブ連合会 櫛引支部	支部長	今野慎太郎		○	
15	鶴岡市消防団櫛引方面隊	隊長	伊藤信	○	○	
16	(松根塾・塾長)	大学非常勤講師	成田勇	○	○	
17	(ふるさとむら宝谷運営管理組合・組合長)	農業	森薫	○	○	
18	(農家民宿権太郎主宰)	農業	齋藤美恵	○	○	
19	(鶴岡市消防団女性消防隊・隊長)	農業	清和ふみ子	○	○	
20	(今野亨建築設計室)	建築士	今野亨	○	○	

※委員任期:(平成24年7月1日)~平成26年6月30日

市職員出席者名簿

250826第2回

No.	役職名	氏名	備考
1	櫛引庁舎支所長	佐藤孝朗	
2	総務企画課長	今野勝吉	
3	総務企画課主幹	菊地ゆかり	
4	産業課長	齋藤功	
5	産業課主幹	佐藤浩	
6	市民福祉課長	本間俊司	
7	総務部南部税務事務室長	工藤幸雄	
8	建設部南部建設事務室長補佐	澁谷清	
9	企画部地域振興課 主査	三浦裕美	
10	櫛引庁舎 総務企画課 主査	前森淳子	
11	総務企画課 主査	菅原正一	
12	総務企画課 主任	大宮将義	
13	総務企画課 主任	梅津一成	
14	総務企画課 主任	佐藤文博	

※会議前の研修会(講演会)には、この他にも庁舎職員と一緒に聴講させていただきます。

【 第 1 回 櫛引 地域 審議 会 配 布 資 料 一 覧 】

平成 25 年 8 月 26 日

【 事 前 配 布 資 料 】

- ・ 会 議 次 第 A4 縦 1 枚
- ・ 研 修 会 チ ラ シ
- ・ 平 成 25 年 度 第 1 回 櫛 引 地 域 審 議 会 会 議 録
- ・ 講 演 会 パ ワ ー ポ イ ン ト 資 料 A4 縦 6 枚
- ・ 【 講 演 会 参 考 資 料 】 A4 横 12 枚
- ・ 資 料 2 : 主 な 発 言 等 の 中 間 的 整 理

【 当 日 配 布 資 料 】

- ・ 会 議 次 第 出 席 者 名 簿 付
- ・ 【 配 布 資 料 一 覧 】
- ・ 資 料 1 : 広 域 的 コ ミ ュ ニ テ ィ 組 織 の 形 成 と 活 動 拠 点
- ・ 資 料 1-2 : 公 民 館 事 業

地域活性化研修

演題

農村で人と人をつなぐほんもの 体験型観光で地域を元気に!

～地域への経済効果10億円・ツーリズムでの地域資源活用例～

講師

㈱南信州観光公社代表取締役社長

たかはし まこと

高橋 充 氏



【参考事項メモ】

- ・長野県飯田市は人口約10万人。教育旅行として2011年に受け入れた学校数は111校、延べ24,000泊(農家泊、旅館泊合計)。受け入れ農家は450戸(飯田市・下伊那郡全域)。農家の宿泊は、1泊2日で6,500円～8,000円。地域への経済効果は年間約10億円。
 - ・農家の宿泊の受け入れは、各農家が独自に行っているものではなく、株式会社南信州観光公社が飯田市・下伊那郡14市町村の全体の窓口になっている。
 - ・飯田市では、この農泊とともに農繁期に実施されているのが、ワーキングホリデーという市外の人たちに農業支援に来てもらうという制度で、農家が宿泊と食事を提供し無理のない農作業を手伝ってもらい、農家や農業のしくみを伝える独自のシステムで運営されている。(参加者に金銭の授受はない。)
 - ・ワーキングホリデーの制度は、1998年から始まったが2011実績では424名が参加。延べ1,897日の農業支援が行われている。このワーキングホリデーから、定住及び新規就農した方は28人。
- この制度への参加登録者数は、全国に1,527名あり受け入れ側農家数は111戸になっている。

【講師プロフィール】

- ・平成4～11年首都圏の旅行代理店(教育旅行支店)に勤務し、教育旅行部門のセールスを担当。
- ・平成8年に長野県飯田市に修学旅行の下見で訪れて以来、毎年数校の修学旅行団を連れ訪れる。
- ・平成12年に飯田観光協会職員として移住。
- ・平成13年の㈱南信州観光公社設立時から支配人に就任。
- ・体験観光誘致の企画・プロモーション・コーディネート及び地域連携システムの構築及び販売ツールの作成等の業務全般を担う。
- ・平成16年12月に同社取締役に就任
- ・平成20年12月に同社専務取締役に就任
- ・平成22年12月に同社代表取締役に就任

2013. 8. 26 月 会場 櫛引公民館ホール

13:15 開会 (13:00～受付開始) 13:20～ 講演 (~15:00)

広域的コミュニティ組織の形成と活動拠点 (地区公民館の総合拠点施設化)

1 広域的コミュニティ組織の形成

今後急速な人口減少や少子・高齢社会の進展により、高齢者支援や防災など、生活に直結する様々な地域課題の増大が見込まれる中で、これまでの単位町内会や集落等での活動では、担い手の面などから対応が困難になることが予測される。

今後も安全・安心な地域や暮らしを維持していくためには、従来の町内会や集落の組織を維持しながら、新たに地区公民館（概ね小学校単位に設置）のエリアを単位とする広域的コミュニティ組織を形成し、地域課題に取り組む。

2 地区公民館の総合拠点施設化

広域コミュニティ活動の拠点として、従来の公民館の生涯学習機能に新たに防災、福祉、地域づくり機能等を加えた総合拠点施設化（仮称：地域活動センター）を図り、広域コミュニティ組織を指定管理者として管理運営を委託する。

3 対象地域及び実施年度等

地域	対象地区公民館	実施年度
藤島	藤島、東栄、八栄島、長沼、渡前	平成 26 年度
羽黒	手向地区、泉地区、広瀬地区、羽黒四小地区	平成 27 年度
朝日	朝日中央、朝日南部、朝日東部	平成 27 年度

※櫛引、温海両地域においては、以下の状況により、さらに検討を要するため当面従来どおりとしている。

○櫛引地域 これまで集落自治会等の統合等をふまえて集落単位のコミュニティ活動の強化を図っていることと、地域に1館の公民館体制となっている。

○温海地域 集落単位の公民館・コミュニティ活動を強化・支援してきたことと、地区公民館を設置し地区単位の事業は実施しているものの、1館を除き、独立した地区公民館の建物がない状況にある。

櫛引地域の広域コミュニティ組織のあり方と 櫛引公民館の地域活動センター（仮称）移行について

1. 広域コミュニティ組織の概要

(1) 組織体制（組織図別紙）

櫛引地域全域又は小学校区単位に新たに各地区及び各種団体により構成する「櫛引地域自治振興会」（仮称）を組織し、会長（会の代表）、副会長（会長の補佐）、評議員（重要な事項の審議等）、理事（事業の企画立案等）、監事（会計監査）などの役員を置き、評議員会（総会）を最高議決機関とする。

(2) 事務局体制

事務局員は広域コミュニティ組織が直接雇用し、地域活動センター（仮称）の施設管理業務のほか、生涯学習、防災、福祉、地域づくりなど、組織が行う活動の業務を担う。

2. 組織が行う事業・活動

広域コミュニティ組織が行う事業等の推進体制（専門部）は、地域の実情に応じて検討する。

- | | |
|-----------|---|
| (1) 総務部 | 施設の維持管理・広報の発行など |
| (2) 生涯学習部 | 運動会・文化祭・各種講座等従来の櫛引公民館事業 |
| (3) 地域部 | 従来の単位集落の事業のうち、広域で取り組むことが効果的なもの、福祉、地域づくりなど |
| (4) 防災部 | 自主防災活動、交通安全・防犯活動など |

3. コミュニティ組織の運営と経費

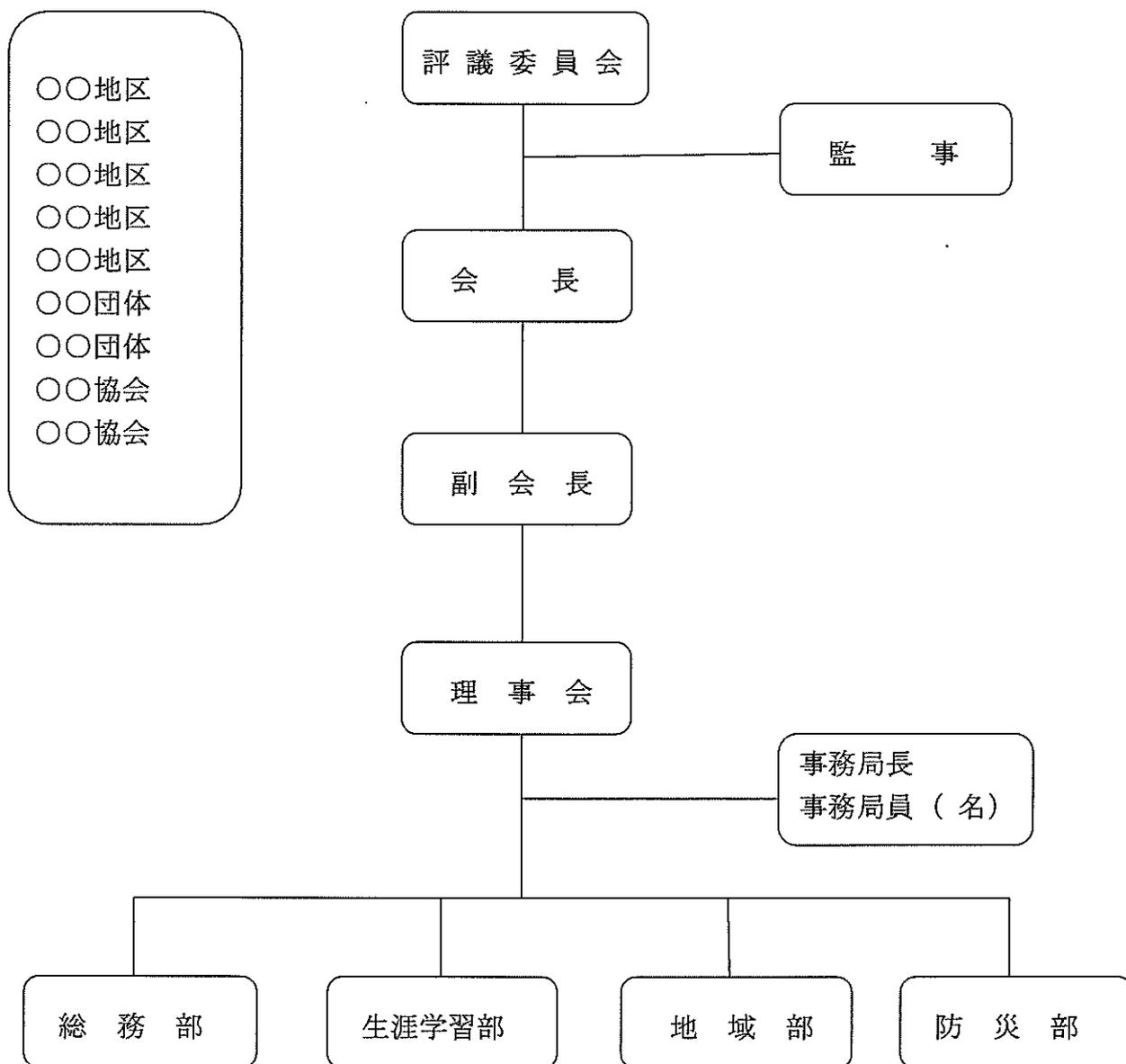
地域活動センター（仮称）の管理運営については、櫛引地域自治振興会（仮称）を指定管理者として委託し、市は指定管理者に委託料と合わせて管理運営や生涯学習事業に必要な経費を支出します。

(主な業務)

- ・開館、閉館、使用許可、使用料納付書の発行
- ・設備備品の小規模修繕、日常の清掃
- ・生涯学習事業の実施
- ・各地区、団体との連携協力業務

(別紙)

櫛引地域自治振興会 (仮称)



公民館事業

(単位：人)

施設名	平成23年度		平成24年度	
	内容	参加数	内容	参加数
中央公民館	市民講座	247	市民講座	313
	市民大学講座	290	市民大学講座	308
	合同文化祭	1,993	文化祭(中公・女性センター 統合)	2,639
	子供体験フェア		子供体験フェア	1,418
	新春文化展	1,517	新春文化展	826
		750	青年スクール(長期)	55
			青年スクール(短期)	106
			16ミリ映写機操作講習会	8
			パソコン講座	70
			映画会	264
			プラネタリウム公開	9,704
			女性講座	305
			資格取得準備講座	28
		家庭生活支援講座	66	
藤島公民館	さなぶりまつり	500	さなぶりまつり	400
	市民運動会	2,000	市民運動会	2,000
	公民館祭り	520	公民館祭り	500
	ふじっ子祭り	200	ふじっ子祭り	150
	学社連携大豆づくり	265	学社連携大豆づくり	355
東栄公民館	地域学習講座	155	地域学習講座	104
	市民運動会	800	市民運動会	950
	東栄芸術祭	400	東栄芸術祭	805
	東栄パルク大会	411	東栄パルク大会	553
	成人球技大会	90	成人球技大会	90
八栄島公民館	市民運動会	380	市民運動会	400
	わらしこ楽園	196	わらしこ楽園	234
	公民館祭	250	公民館祭	250
	学社連携事業パルク大会	216	学社連携事業パルク大会	276
	あったかカラオケ	37	あったかカラオケ	38
長沼公民館	市民運動会	500	市民運動会	500
	わんぱく広場	256	わんぱく広場	301
	芸術文化祭	360	芸術文化祭	247
	工芸教室	47	工芸教室	42
渡前公民館	市民運動会	1,000	市民運動会	900
	地ふりき祭り	380	地ふりき祭り	350
	芸術文化祭	310	芸術文化祭	300
	ドリームランド	154	ドリームランド	101
	学社連携創作支援活動	203	学社連携創作支援活動	249

羽 黒 公 民 館	成人式 生涯学習講演会 青少年教室 その他	90 150 20 7	成人式 生涯学習講習会 青少年教室 その他	89 54 20 6
手 向 地 区 公 民 館	少年教室 女性セミナー 生きがい講座 地区球技大会 地区文化祭	187 208 222 200 333	少年教室 女性セミナー 生きがい講座 地区球技大会 地区文化祭	145 256 225 234 370
泉 地 区 公 民 館	親子教室 レディスセミナー 運動会 地区総合フェスティバル 高齢者教室	68 291 1,300 298 155	親子教室 レディスセミナー 運動会 地区総合フェスティバル 高齢者教室	73 279 1,400 309 170
広 瀬 地 区 公 民 館	男の料理教室 親子deもの作り教室 エプロンスクール ですかセミナー 冬季レクリエーション大会	19 42 117 650 530	熟年者いきいき交流 親子deもの作り教室 エプロンスクール 地区文化祭 冬季レクリエーション大会	68 40 130 500 600
羽 黒 四 小 地 区 公 民 館	少年教室 成人講座 生きがい講座 秋祭り 冬季レクリエーション大会	152 89 60 100 110	少年教室 成人講座 生きがい講座 夏祭り 冬季レクリエーション大会	135 81 54 124 110
櫛 引 公 民 館	成人講座 出前講座 趣味の講座 地域文化祭	366 534 8 1,482	成人講座 出前講座 趣味の講座 地域文化祭	259 524 151 1,229
朝 日 中 央 公 民 館	朝日いきいき大学 四つの運動推進 軽スポーツ大会 ふれあいシアター 趣味講座	93 1,113 180 47 168	朝日いきいき大学 四つの運動推進 スポーツ振興事業 ふれあいシアター 趣味講座 ふなの木少年教室	99 1,414 1,652 30 44 156
朝 日 南 部 公 民 館	出前学級 趣味講座 ふなの木少年教室 スポーツ振興事業 地域学習振興事業	45 14 41 360 170	地域子ども教室推進事業 趣味講座 ふなの木少年教室 スポーツ振興事業 地域学習振興事業	58 7 14 464 153
朝 日 東 部 公 民 館	ふなの木少年教室 グラウンドゴルフ大会 生涯学習セミナー 芸能文化まつり 運動会(夏・冬)	26 30 50 150 300	趣味講座 出前学級 ふなの木少年教室 スポーツ振興事業 生涯学習セミナー 地域学習振興事業	8 70 40 414 50 215

温海公民館	リーダー研修	16	リーダー研修	15
	青少年ボランティア養成講座	42	青少年ボランティア養成講座	29
温海第1地区公民館	市民大学	52	市民大学	59
	国際理解講座	94	国際理解講座 (地区出席講座含む)	231
			青年事業(1~4地区合同事業) 「カクテル講座」	20
温海第1地区公民館	運動会	680	運動会	650
	軽スポーツ大会	60	軽スポーツ大会	57
	生涯学習講座	5	地域づくり事業	21
温海第2地区公民館	さくらマラソン大会(中止) (実行委員会主催事業)		さくらマラソン大会 (実行委員会主催事業)	選手 1,709 スタッフ 350
	運動会	1,000	運動会	1,000
	夏季レクリエーション	26	地域づくり事業	46
	若壮年交流事業	12		
温海第3地区公民館	球技大会	200	球技大会	200
	運動会	655	運動会	495
	女性交流事業	56	女性交流事業	17
			地域づくり事業	73
温海第4地区公民館	トライアスロン大会 選手	245	トライアスロン大会 選手	330
	(実行委員会主催事業) スタッフ	480	(実行委員会主催事業) スタッフ	450
	運動会	800	運動会	700
	球技大会	250	球技大会	250
	学校地域連携事業	124	学校地域連携事業	25
			地域づくり事業	97

協議テーマ等に係る主な発言等の中間的整理

資料 2

2500826 地域審議会

協議テーマ **－地域活性化に向けた－** ①住民主導の広域コミュニティ推進組織について
②住民参画型の賑わいの創出について

	各委員の主な意見・発言	今後の議論の方向性
1	<p align="center">住民主導の広域コミュニティ推進組織について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 少子高齢化は、如実に現実のものとなっており、しっかりと今から対応を考えていく必要がある。 ● 櫛引の今の 21 単位自治組織については、再編の必要はないしこのまま継続していくべき。(多数の委員) →<u>現在の単位自治組織の維持が基本</u> ● 櫛引地域 21 集落の自治会活動や自治公民館活動は、大事にしていくべき。 →<u>櫛引は、昭和の大合併時 44 あった集落を 21 まで集約してきた経過</u> ● 各旧町村では、防災、福祉を含めた地域の拠点づくり(地域活動センター化)が進められようとしている中で、櫛引は必要ないのか。このことは、将来に影響を及ぼす大事なことではないか。 ● 地域活動センター化については、櫛引・温海は別に考えるとなっているが、広域コミュニティ組織を作っていく場合、いつまで作っていくかというタイムスケジュールがないと進まないのではないか。 ● 地域活動拠点の一つとして、櫛引の場合は現在の櫛引公民館が想定されるが、昭和 55 年に建設した建物で施設の老朽化もあることから、耐震補強も含めた改修の計画をしていくことも大切でないか。 ● 地域活動センター化と、これまでの教育委員会サイドの社会教育施策の展開との関係がどうもわかりにくい。 ● 鶴岡市全体から櫛引を見ないと、実は櫛引地域のこともなかなか見えてこ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民主体の地域づくりを進める「地域コミュニティ基本方針」に対する理解が徐々に深まってはいるが、櫛引にあっては広域コミュニティ組織が新しいものであるため、更に議論を深めつつ、作っていく方向での議論。 ・ 広域的コミュニティ組織が、単位自治組織や自治公民館の支援を行う場合、具体的にどういった支援が良いのかという議論。 ・ 他の地域で進めようとする地域活動センター化と、社会教育施設としての櫛引公民館の存続が、今後も併存していけるのか。(地域によって有利・不利がでてこないのか)

(24 年度及び 25 年度第 1 回までの発言整理)

<p>ないという心配はないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中山間集落では、人数も少ないが若者が仕事等で忙しくなかなか地域運営や行事に関わってくれない悩みがある。 ●宝谷地区は、27戸と少なく地元では頑張っているが、自治公民館としての役割を果せているか疑問を持っている。 <p style="text-align: center;"><u>→櫛引地域内でも集落毎に、自治公民館活動の内容はそれぞれ異なる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●伝統文化など小集落で守るべき財産多いが、それを守っていかなければならないという使命感が、コミュニティの求心力になる。 ●櫛引公民館の人的配置を見ると、正規の職員が減ってきているが、この姿が広域コミュニティの姿になるのかと感じている。 ●櫛引に当てはまる広域コミュニティ組織は、中学校区を単位とした広域コミュニティが現実的なものではないか。 ●くしびき夏まつりの実行委員会が、各組織の代表で構成され実施されたが大変良いことであり、地域の活性化のためにそういった組織を作っていけたら効果的でないか。 ●職員地区担当制度の導入について、職員によっては我々地域の課題を捉えきれない面もでてくるのではないか。 ●自治組織への補助金の総合交付金化にあっては、低位平準化の方向にならないよう慎重に行う必要がある。 ●行政組織の機能強化に向けた今年度(H24)の職員配置の重点化については、住民からは強化とは映らないし、むしろ逆のようにも見える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・櫛引地域は、広域コミュニティ組織を直ちに作るスケジュールではないが、広域のあり方や組織構成を含め、検討や準備をしておく必要がある。 <p style="text-align: center;"><u>→タイムスケジュール持つべき</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・櫛引地域では、現在の方向性として、広域的コミュニティ組織の単位は、小学校区単位ではなく中学校区単位が良いとする方向性あり。 ・市の職員数については、人口減少や行財政改革もあり、今後も減少していく方向にある。
---	---

<p>2</p>	<p>住民参画型の賑わいの創出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 櫛引はかつての輝きや求心力が低下してきているのではないか。 ● 地域として、汗をかく事業をやらないと輝きなくなる。 ● 櫛引の運動公園等の体育施設は、合併により利用者が増大し、そういう面では賑わっているし、求心力が高まっているとも言える。 ● くしびき夏まつりは、せっかく特設の設備でもあるので、更にもう1日位イベント活用できないか。 ● 櫛引の運動公園の河川敷地は、大変環境が良いので若者達の音楽関係の発表の場としてもう一日は貸すという企画も良いのでは。 ● これから地域活性化のためには、行政側からの提案に単に賛成していくというのではなく、皆で知恵を出し合い、この審議会でも色々発想・議論し提言していくということが大切だ。 ● 観光イベント等の開催にあっては、誘客を滞在型にするためにも櫛引だけで考えるのではなく鶴岡の他地域との連携も考えていくべき。 ● 櫛引は、スポーツ関係頑張って大変な活躍をしているが、その活躍を地域皆で喜び合う場が合併後になくなってしまった。この皆で喜びあう場が、地域を元気にするし活気になる。 ● 婚活の取組みは良かったし、この審議会でも色々な分野でどうやったら櫛引の元気を取り戻せるかを企画して欲しい。 ● 丸岡城跡の加藤清正公忠廣公に結びつけた観光振興が、この地域の観光発展に大きな影響を与えることになるし、地域活性化にも大事。 ● 櫛引地域には、美味しい食材や伝統芸能含め素晴らしい資源が沢山あるが、それを地域で守っていく方法を見出すこと必要。 ● 賑わい創出には、外部からの誘客も絡め是非櫛引の農産物を売る工夫を。 ● 櫛引の地域振興の柱の一つである、グリーン・ツーリズムの推進については、「にぎわい創出」にあっては大事な視点だが、平成20年の地域振興ビジョンの策定以降、大 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに作っていく、広域コミュニティ推進組織が、具体的に何をしていくのかと併せ、実施可能な事業アイデアを出していただく。 ・ イベント等の開催にあって、地域の団体・住民が単にお客様としての参加でなく、運営参画型で進めていく地域の気運醸成に向けた議論。 ・ 櫛引町時代にグリーン・ツーリズムの拠点施設として「ふるさと村宝谷」や「ほ
----------	---	---

(24年度及び25年度第1回までの発言整理)

<p>きな前進はなかったのではないか。櫛引の良さを総合的に縫い合わせるような、拠点施設が必要でないのか。</p> <p>●市の重点施策の中に「食文化創造都市推進事業」があるが、この中で櫛引地域をどう関わらせるか大切。地域の食文化を活用した事業は、地域の賑わい創出にも役立つものになるのではないか。</p>	<p>のかたらのき代」等の整備を行ってきた経過あるが、当初の目的が十分果たせていないのではという反省もある。</p> <ul style="list-style-type: none">・櫛引地域も応分に参画していくとともに、食文化を切り口にした活性化事業等も今後検討の必要あり。
--	--

(24年度及び25年度第1回までの発言整理)

<p>3</p>	<p>テーマ以外の事項についての主な発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域経済の活性化と雇用の場の確保の取り組みが大事。 ●地域審議会には、新市建設計画の進捗状況をチェックする役割があるが、これについてはどうなっているか。 ●市の施設等について、今あるものをより長く使うため修繕等を適切に行っていくべきでないか。 ●平均寿命は伸びているが、健康寿命を如何に伸ばすかという取り組みが大事でないか。 ●敬老会参加対象年齢が 75 歳以上になったが、参加率が悪くなっており以前の 70 歳以上に戻して元気な高齢者の交流の場にはできないか。 ●櫛引は、敬老会を活発にするためにも年齢を引き下げること、行政的な部分で説得力を持てるか。ラインありきで、それは動かせない事項なのか。 ●敬老会の開催時期は、今の 5 月から 6 月にできないか。(田植との関係) ●近年自然災害が常態化しているが、地域の防災対応は大丈夫か。 ●学校適正配置の取り組みは、地域にあっても最大の改革であり、時代の流れをわきまえてより良い学校経営を考えていく必要がある。 ●空き家対策については、市としてももっと力を入れて欲しい。 ●鳥獣被害防止対策については、農作物被害の他に、熊による人的被害もでていることから力を入れて取り組んで欲しい。 ●中山間集落に農業後継者がいないことは大変深刻で、是非儲かる農業につながるような取り組み必要。 ●農業は、きつい・汚い・危険の 3K とかつて言われたり、今は、後継者不足、高齢化、荒廃農用地の 3K とも言われるが、観光・感動・希望の 3K にできる可能性持っている。櫛引では観光果樹園入園者も伸びている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 25 年度が振興計画実施計画(10 年間)の中間年でもあり、市では中間見直しとして後期計画を策定していくこととなる。 ・併せて、平成 20 年 3 月策定の地域振興計画(地域振興ビジョン)についても見直しをしていく。
----------	--	---

(24 年度及び 25 年度第 1 回までの発言整理)

<ul style="list-style-type: none">● 櫛引地域にあつては、農業を基幹産業と言っている割に、施策や事業として具体的にどう農業振興していくかということが見えてこない。● 行財政改革関連で櫛引地域に関係するものなどについては、地域審議会にも報告いただき、必要によっては委員の意見等も随時聴取することも大事でないか。	<ul style="list-style-type: none">・ 農業振興は、市全体の取り組みとして推進していく中で、櫛引の強みでもある果樹振興については、中心的役割を果たす方向。
--	---

(24年度及び25年度第1回までの発言整理)